

令和元年

自己点検
及び
自己評価項目

学校法人つくば文化学園

日本つくば国際語学院

自己点検・自己評価項目

実施責任者
日本つくば国際語学院
教務主任 杉本 和昭

評価基準

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取組を検討中 1:改善が必要

(1)教育理念・目的等

評価項目	評価
学校の理念・目標は定められているか	5
育成人材像・特色などが明確になっているか	5
理念に基づいた人材教育が行われているか	4
理念と教育目標が職員や生徒・保護者に周知されているか	3
現状と具体的な取り組み及び課題について	
本校の「日本語を楽しく学び、日本を好きになってもらう」という教育理念は教職員一同理解しており、徐々にその効果が見られる。教室から賑やかな声が聞こえ、学生からも楽しそうな様子を感じられる。しかし、学校全体に浸透しているかという点、まだ十分ではない。非常勤講師にも教育理念を理解していただくよう努め、自国の文化・習慣に固辞する学生にも理解してもらえよう学校全体で一層の努力が求められる。	

(2)学校運営

評価項目	評価
運営方針は定められ、職員に周知されていて実行しているか	5
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5
中長期的に学校の予算・収支計画は有効かつ妥当か	5
運営組織や意志決定機能が確立され、効率的なものになっているか	4
人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能は整備されているか	4
危機管理体制及び施設・設備は教育上の必要性和学生の安全確保に十分対応できる よう学校教育法に基づき整備されているか	5
現状と具体的な取り組み及び課題について	
日本後教育機関の告示基準をもとに、事務長が中心となり適切な運営を行っている。運営方針は本部長が本社と定期的に相談しながら策定をしている。危機管理体制については学生の安全を最優先に考え、避難訓練の実施、避難場所の掲示、連絡網の作成を行い教職員と学生が共に防災の	

意識を強く持つてもらおうように取り組みを行っている。

(3) 教職員

評価項目	評価
教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
教育目標を達成するための取り組みがされているか	4
教職員の評価を行っているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>教務主任と常勤講師が中心となり、非常勤講師と連携しながら目標達成に日々取り組んでいる。本校はまだ開校して日が浅く、教職員の入れ替わりもあったため、現在は目標達成のための体制作りをしている最中である。教職員評価に関しては教務主任が定期的な授業見学と面談を実施しており、学期開始前には職員会議を行い、学期ごとの教育方針と目標の統一を図っている。また未経験の教員には、教務主任が研修を行い教育の質を保っている。</p>	

(4) 教育活動

評価項目	評価
進学のためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実践されているか	4
学習理解の到達度の確認はされていて成績評価は適切か	5
教育目標に適合した教材や機器が使用されているか	4
各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	4
目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>進学のために教務主任と常勤講師が協力しカリキュラムを作成している。学生の目的意識とレベル差が激しいことや、限られたマンパワーの中で工夫・開発・実践されたかという点から評価をすると、及第点には達している。1つの教室に様々な目的、日本語力の差、異なる習慣を持つ学習者が混在しているため、学生1人1人に合った教育活動を行うのは容易ではない。ただ、学生の学習理解度は教務で把握しており、必要に応じて授業以外に学生面談や補講等を実施し、目標達成に向けてのサポートを行っている。</p>	

(5) 学生支援

評価項目	評価
進学に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4

学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか	5
経費支弁者や、個人で学生を紹介してくれた人と適切に連携しているか	3
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>進学に関しては外部の進学説明会への参加や、オリエンテーションで学生指導を行い、その情報も学校全体で共有している。第1期生であるため、指導内容は出席率、生活上のルール、アルバイト関連など基本的なものを中心に、学生に十分伝わるよう繰り返し説明をしている。健康管理においては校内で健康診断を実施。経済的支援としては、学費の支払い猶予計画の作成や個別面談を重ねるなどして対応している。</p>	

(6) 学生募集と受け入れ

評価項目	評価
学生の受け入れ方針は定まっているか	5
学生募集活動は適切に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正しく伝えられているか	3
入学選考は、適正かつ公平は基準に基づき行われているか	4
学生定員設定は適正及び在籍者数になっているか	5
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>学生の受け入れについて、明確な方針は定まっておらず、募集活動についても積極的に行っていく必要があるが、他の業務に追われ、十分な時間を割けていないのが現状だ。現地に強い繋がりもなく、本校には外国人スタッフもいないので、募集活動の体制構築は喫緊の課題である。</p>	

(7) 在籍管理と生活指導

評価項目	評価
学生の生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、学生に周知されているか	5
我が国の法令を遵守させるための指導は行われているか	5
学生が母国と日本の文化の違いを理解するための指導やアドバイスが行われているか	4
入国・在留関係の管理や指導と支援が適切に行われているか	4
常に学生の最新情報を把握しているか	3
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>学期ごとに事務と教務が合同でオリエンテーションを行い、生活指導の徹底を図っている。また、校内で警察講話を実施し、日本の法律を始め交通ルールや生活全般に関する指導も行っている。学生の最新情報に関してはSNSや面談を通して最新情報の把握に努めている。</p>	

(8)安全・危機管理

評価項目	評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
感染症発生防止・発生時の措置を定めているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3
災害時に対する避難訓練を定期的実施しているか	4
災害時の避難経路、方法、場所を定めているか	3
現状と具体的な取り組み及び課題について	
防災に対する備えは十分でない。幸いにも立地に恵まれ、今まで大きな災害に遭っていないが、早急に対策を施す必要がある。まずは避難訓練を実施し、災害時の避難場所の確認、また自宅から避難場所までのルートを確認させなくてはならない。さらに今後の災害に備え備品の購入と災害発生時の職員の役割をまとめ、感染症に対する対応も今後の課題として検討していく予定である。	

(9)財務

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
財務について会計監査が適切に行われているか	5
財務情報公開の体制整備はできているか	5
現状と具体的な取り組み及び課題について	
財務関連については母体である学校法人ページ上に公開し、適切に管理・整備されている。	

(10)法令等の遵守

評価項目	評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
現状と具体的な取り組み及び課題について	
茨城県、学校法人、法務省の運営基準をもとに、適正な運営を行った結果、適正校になることができた。個人情報の取り扱いには職員会議などで十分注意するよう確認している。自己点検・自己評価の公開に関してはホームページ上で公開する。	

(11)社会貢献

評価項目	評価
------	----

学生の教育資源や施設を活用した社会貢献に努めているか	3
学生のボランティア活動を奨励・支援に努めているか	3
現状と具体的な取り組み及び課題について	
<p>昨年4月に来日した学生にとって生活基盤は形成されつつあるものの、現在は卒業後の進路を決める重要な局面である。ボランティア活動や社会貢献は非常に大切なことではあるが、現状では希望者がいれば適宜対応という形をとっている。</p>	

(12) 総括

今回が2回目の自己点検・評価となるが、改善された項目と依然として課題となっている項目が判明した。課題として挙げたのは、学生の国籍が多様であるため、文化の異なる学生同士が同じクラスに在籍することによる管理の問題。2点目は、学校の方針と学生の目的意識の違いによる差と、特定技能の創設による進路の複雑化。最後に学生募集全般の体制構築。防災、とりわけ感染症の対策も急務である。

国籍多様化にともなう文化の違いについては、やむを得ない部分もあるが、入学後のオリエンテーションを始め、選考の段階で留学目的と共に十分確認しておく必要があるだろう。特定技能に関しては、不確定な情報に振り回されないよう学校全体で正しい情報をもとに方針を決定・統一し、進路指導をすることが大切だ。学生募集に関してはマンパワーの不足もあるが、業務を効率化できていないのが最大の問題である。ICT環境を徐々に整えることや、現状の作業にムダはないか、効率的に進める方法はないかを職員同士が話し合っより良い職場環境を作ることが求められる。